

JXエネルギーと韓国SKグループの潤滑油ベースオイル製造に係る合併会社設立について

～戦略的業務提携に基づく潤滑油事業施策を展開～

JX日鉱日石エネルギー株式会社(社長:木村 康、以下「JXエネルギー」)とSKイノベーション株式会社(社長:具滋榮 ク・ザヨン、以下「SKI社」)の子会社であるSKルブリカンツ株式会社(社長:崔寛鎬 チェ・グアンホ、以下「SKL社」)は、韓国ウルサン広域市のSKエナジー社ウルサンコンプレックス内に潤滑油ベースオイル※製造設備を建設すべく、このたび合併会社設立について基本合意しましたので、お知らせいたします。

今回の基本合意は、2007年1月22日に新日本石油株式会社(当時)とSK株式会社(当時)が合意した戦略的業務提携に基づいたもので、両社は今後、事業化に向けた更なる検討を進めてまいります。

潤滑油製品においては、より一層の省燃費・長寿命化への対応が求められており、高品質潤滑油製品の基材であるグループⅢベースオイルの需要拡大が見込まれております。

JXエネルギーは、今回の新設製造設備を通じて高いコスト競争力を有するグループⅢベースオイルを安定的に確保することにより、ワールドワイドでの潤滑油製品の販売拡大を目指し、グローバルな事業規模の拡大を進めてまいります。またSKL社は、韓国ウルサンにおいて大規模なベースオイル生産設備を建設することにより、ベースオイルおよび潤滑油事業を世界的に拡大することを進めてまいります。

なお、新設備建設に係る総投資額は、約3,500億ウォン(約280億円)の見込みです。

両社グループは、今後とも各分野における業務提携施策を通じ、将来に向けた強靱な経営基盤の確立に努めてまいります。

※ 潤滑油製品の原料であり、これに各種添加剤を配合することで、潤滑油製品となる。一般潤滑油用ベースオイルの最高グレードであるグループⅢは、高粘度指数(温度変化に対して粘度変化が少ない)、低蒸発性、低温粘度特性に優れるといった性能を持つ。

記

<合併会社の概要>

1. 社名	未定
2. 所在地	大韓民国ウルサン広域市(SKエナジー社 ウルサンコンプレックス内)
3. 設立時期	未定
4. 資本金	1,300億ウォン(予定、約100億円)
5. 出資比率	JXエネルギー 28% SKL社※ 72%
6. 代表者	未定
7. 事業内容	潤滑油(ベースオイル)の製造
8. 生産能力	約135万KL/年
9. 商業生産	2012年7月頃

※ SKI社の100%子会社。2009年10月にSKエナジー社(当時)から潤滑油事業が分社化され、設立。

以上

● 別添資料

